

国際希少野生動植物種に追加する種の概要

1. 国際希少野生動植物種に追加する種の概要

(1) *Pachypodium windsorii*

(パキユポディウム・ウィンドソリイ)

1) 分類及び種名その他の名称

きょうちくとう科

Pachypodium windsorii (パキユポディウム・ウィンドソリイ)

異名：*Pachypodium baronii* var. *windsorii*

2) 分布状況

マダガスカル

3) 絶滅のおそれを生じさせている要因

パキユポディウム・ウィンドソリイを含むパキユポディウム属の多くについては、園芸取引等のための採集や山火事等による生育地の破壊が個体数の減少の原因となっている。

4) 日本における流通

平成元年のワシントン条約附属書改正提案によれば、パキユポディウム属の輸出入は主に繁殖個体に関するものであるが、過去にパキユポディウム属をマダガスカルから輸入していた国のひとつに日本が挙げられている。

CITES取引データベースによれば、近年、数百個体以上のパキユポディウム・ウィンドソリイの繁殖個体がタイ、台湾、韓国等から日本に輸入されている。

日本国内では、「パキポディウム・ウィンゾリー」等と称して、主に種子繁殖個体が販売されている。

5) 国内における流通規制

きょうちくとう科の植物は、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行規則に基づき、繁殖させたものの譲渡し等の規制対象から除外されているため、パキユポディウム・ウィンドソリイも同様の取扱いとなる。